

「第5回年次カンファレンス」

～ 適正な対応－基準と手続きの重要性－ ～



1. 開催日時 : 平成22年11月7日(日)
2. 開催場所 : 福岡市・九州大学医学部 百年講堂
3. プログラム : *以下のとおり
4. 参加人数 : 約350名

プログラム

9:20～11:30 シンポジウム

院内検証

司会 慶應義塾大学大学院 前田 正一

(司会報告) なぜ院内検証を行うのか?-院内検証の二つの目的と検証の基準

1. 検証の具体的方法と今後のあり方-関係診療科と揉め事を起こさずに適正な検証をする意義

演者 北海道大学病院 准教授 南須原 康行

2. 検証にあたり病院管理者が心得ていなければならないこと-介入の実際とその是非

演者 国立病院機構 理事 / 同 呉医療センター・中国がんセンター
病院長 上池 渉

3. 市民の目からみた検証の重要性-有害事象発生時に患者が抱く疑問とそれを解消するために

演者 日本経済新聞社 東京本社記者 前村 聡

12:10～13:10 会員報告

座長 西神戸医療センター 巽 祥太郎

1. 薬局における疑義照会の要因分析

(静岡県立静岡がんセンター 飯島 久子)

2. 入院患者の予期せぬ急変事例の検討-緊急コール及び有害事象報告から

(神戸大学医学部附属病院 村田 真穂)

3. 有害事象発生後の患者説明に関する研究論文の分析

(慶應義塾大学大学院 小林 梢)

4. 供給できる医療と患者側の求める医療とのギャップ

(国立病院機構 姫路医療センター 嶋崎 明美)

13:30 ~ 16:10 特別講演

新たな時代を迎えた脳死臓器移植と現場対応

座長 京都大学名誉教授 加藤 尚武

1. 改正臓器移植法-脳死臓器移植に対するドナーの事前意思とそれがいない場合の取り扱い

演者 神戸大学大学院法学研究科 教授 丸山 英二

2. 患者に脳死の疑いが生じた場合の対応手順-医学的対応および家族対応の進め方

演者 日本臓器移植ネットワーク 小中 節子

3. 移植医療の現場-その過去・現在・未来

演者 大阪大学医学部附属病院 教授 福嶋 教偉